

平成 22 年 2 月 25 日

各 位

会 社 名 住友軽金属工業株式会社  
代表者名 社 長 山内 重徳  
(コード: 5738、東証・大証第 1 部)  
問合せ先 経理部長 川島 輝夫  
(TEL. 03-3436-9771)

## 新中期経営計画の策定について

当社は、中長期ビジョンとその達成に向け、2010 年度を初年度とする第四次中期経営計画「**SUMI KEI VISION 2012**」(「**SV12**」)を策定いたしましたのでお知らせいたします。

### 1. 環境認識と当社の中長期的な課題

当社を取り巻く環境は、国内需要の伸び悩む中、お客様の海外展開は海外の新興国需要(中国/東南アジア/インド/中東等)をターゲットとした更なるスピードアップと現地生産へとシフトしようとしております。

一方、全般的に国内の需要は伸び悩んでおりますが、自動車軽量化、新エネルギー分野、その他環境関連分野等の新規製品分野は今後も成長するものと判断しております。

このような環境において、当社は

#### お客様にとっての「ベスト・グローバル・パートナー」

でありたいと考えております。

その実現のための中長期的課題は以下のとおりです。

- (1) 技術開発力の優位性の維持・強化(既存分野/新規製品分野)
- (2) 品質・納期・技術サービス等による海外メーカーとの差別化
- (3) 海外展開するお客様へのグローバルな供給体制構築  
(ローカルメーカーにも供給可能な競争力を確保した供給体制)
- (4) 上記を含めた持続的成長投資が可能な安定的収益構造と財務体質の実現

### 2. **SUMI KEI VISION 2012**の概要

基本方針として以下の 5 点を掲げ、『守り』と『攻め』の両立を図ってまいります。

#### (1) コスト構造改革と財務体質の早急な改善

すでに公表しております加工品事業再編と押出素材/部材事業再編は計画通り実施いたします。さらに伸銅事業強化策の検討を行い実施いたします。

有利子負債に関しては、これまで進めてまいりました在庫圧縮等の資産効率化活動をさらに一歩進め、更なる削減を実現いたします。

## (2) 成長戦略のビルトイン

既存重点事業ユニットの優位性の維持・強化を図るとともに、新規成長分野（自動車軽量化／新エネルギー分野／その他環境関連等）でのナンバーワンを目指します。

また、海外へ展開するお客様へのグローバル供給体制構築に積極的に取り組むとともに、海外でのビジネスチャンスへも積極的に取り組んでまいります。今後の成長が望める新興国需要（中国／東南アジア／インド／中東等）に対し、高機能対応品及び現地ボリュームゾーン対応品をお客様へ供給できる体制をより強化してまいります。

## (3) 技術開発力の更なる強化

現場力・スタッフ力も含めた技術開発力強化へグループ全体で取り組み、お客様の信頼と満足を得るべく努めてまいります。

## (4) コーポレートガバナンス、コンプライアンス体制の強化

住友の事業精神に則り、「お客様の満足と信頼を得る製品とサービスの提供に努め健全な事業発展を通じて広く社会に貢献する」という当社グループの経営理念を達成すべくCSR活動に取り組み、お客様、株主の皆様、従業員、取引先並びに地域社会の信頼を得るべく努めてまいります。

## (5) 復配の早期実現

上記を通じ、復配の早期実現を達成したいと考えております。

## 3. 数値目標

### 【連結決算】

(単位：億円)

	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 予想	2012年度 目標
売上高	3 2 7 6	2 7 8 2	2 3 0 0	2 6 0 0
営業利益	1 8 0	△ 7 7	5 5	1 9 0
経常利益	1 3 3	△ 1 4 3	3 0	1 5 0
ROA	5 %	△ 2 %	2 %	7 %
有利子負債	1 9 6 6	2 0 5 8	1 7 9 0	1 4 5 0
純資産比率	1 5 %	6 %	9 %	2 0 %
設備投資	8 2	9 2	5 0	2 5 0 / 3年間※

※戦略投資を含む

以 上